



丹沢大山の自然を守るために

山の上のシカ問題

シカはたくさんの草を食べるため、エサが豊富な平野の方が暮らしやすい動物なのですが、平野は都市化が進んだこともあって、今は丹沢山地を中心に暮らしています。

丹沢山地の、特に標高の高い場所では、シカが、エサである草木を食べ尽くしてしまい、シカが食べない数種類の草しか生えていなかったり、下草が無くなったりしている場所があります。

このことが原因で、生態系への様々な影響が起っています。

下草が無くなると、微生物が時間をかけて作った“水を育む森の土”が沢に流れ出してしまい、また、植物を利用して生活しているいろいろな生き物も暮らしにくくなります。



シカの採餌から植生を守る柵の内側は、緑が豊かに回復している。



ニホンジカは、グループで行動する大型の草食動物です。県内では、丹沢山地を中心に棲息していますが、本来は草原と森が入り交じった環境を好みます。かつては、天敵や大雪などでシカの数も調和がとれていました。しかし、天敵であるオオカミの絶滅や気候の温暖化、そして森林の伐採でシカのエサが多い「草はら」を一時的に増やしてしまったことで、全国的にシカが増え、農林業被害や生態系への影響が発生しています。

農林地を荒らすシカ

山に植えた木がシカに食べられる、山の麓でシカが農地に出没して荒らす、などの農林業被害が発生しています。

県では、このようなシカと人とのあつれきを解消し、自然とのバランスを保つため、科学的根拠に基づく計画（特定鳥獣保護管理計画）を策定し、総合的な対策を実施する予定です。



エサの少ない冬などはシカが樹の皮を食べるので、樹木が弱ったり枯れたりする原因になっています。（永田幸志氏提供）

お問い合わせ

野生動物一般についての相談 / ケガなどの野生動物の保護・救護について
神奈川県自然環境保全センター 自然保護公園部野生生物課
TEL : 046 - 248 - 6682 FAX : 046 - 248 - 2560
〒243-0121 厚木市七沢657
E-mail : hozenc-yaseiseibutsu.197@pref.kanagawa.jp
鳥獣行政 / 被害対策について
神奈川県環境農政部緑政課 野生生物班
TEL : 045 - 210 - 4319 FAX : 045 - 210 - 8848
E-mail : tyouju.230@pref.kanagawa.jp

4月～8月は、野鳥関係のお問い合わせで電話が混み合います。緊急の場合以外は、FAXまたはE-mailでのお問い合わせをおすすめします。

かわいいだけでは 解決しない

人と野生動物の共存のための豆知識

